

令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【文蔵小学校】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	
思考・判断・表現	

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<学習上の課題> 算数「数と計算」 <指導上の課題> 個人差が大きい。学年が上がると正答率が低下していることや、下の学年のうちから計算問題の無回答率が高いことから、より確実な学習内容の定着が求められる。	⇒ 低学年においてはデータを活用して習熟度を確認しながら、デジタルドリルやプリントに取り組む。【週に1度】 高学年においては児童が自分の苦手を把握し、自主学習の計画を立てたり、学びを振り返ったりするような時間を設定する。【週に1度】 SSDBの授業アンケートから、実態を把握して、追加の課題を与えたり、重点的に個別に指導したりすることができるようにする。【単元ごとに1回以上】
思考・判断・表現	<学習上の課題> 国語「書くこと」読むこと」 <指導上の課題> 物語文の正答率が低く、無回答率も他に比べて高い。登場人物の言動や場面の变化に気を付けながら読む力を付けていく必要がある。また目的や意図に応じて、文章だけでなく図表を用いて書く力も不足している。	⇒ 学びのポイント「じ・し・ゃ・く」を意識した児童主体の授業を日々実践する。【毎時間】 それら実践を生かし、学校課題研修においてパートごとに研究授業を行い、成果と課題を共有する。【学期に1回】 教師が教える授業から児童が学びの授業を目指し、授業改善をする。【単元ごとに1回以上実施】

⑤	評価(※)	学力向上策の実施状況
知識・技能		①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能	国語では我が国の言語文化に関する事項において、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付くことに課題があった。算数では、台形の意味や性質について理解している児童は4割に達しておらず、ほとんどの児童が方眼上の四角形を台形と捉えるために、向かい合った一組の辺が平行であることに着目できていない現状であった。理科の「物質に関する問題」では、水の蒸発や結露について水の状態が変化するという知識を基に、概念的に理解することに課題があった。 3教科とも令和6年度よりも正答率が低下しており、知識のつながりが弱いことが考えられる。言語・図形・自然現象のいずれも、構造や関係性を理解する力が求められるが、断片的な知識にとどまっている可能性がある。	
思考・判断・表現	国語の「話すこと・聞くこと」では、複数の質問を関連付けて聞くことで、聞きたいことを相手に引き出そうとしていくと捉えることに課題があった。算数では、「図形」の領域において、基本図形に分割することができる図形の面積の求め方を、式や言葉を用いて記述することに課題があった。理科の「地球に関する問題」では、赤土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、結果を基に結論を導いた理由を表現することに課題があった。 どの教科においても、言葉で説明する力が不足しており、他者との対話を通して思考を深めたり、図や表、ICTを活用して思考を整理したりする活動を充実させる。	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能		
思考・判断・表現		

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	B	低学年においては、毎週木曜日の時間にデジタルドリルやプリントに取り組んでいる。繰り返し取り組むことで定着を固め、取り組み量を児童に決めさせて達成感を味わわせることができた。 高学年では、自分で計画を立てて自主学習に取り組めるようになってきているが、苦手克服のための学習というよりも、児童のやりたい学習やテストに向けて取り組み傾向がある。間違えた内容に粘り強く取り組んでいる児童もいる。	SSDBを活用した児童の実態把握は運用に課題があった。小テスト、練習問題、プリント、振り返り、朝学習の到達度を活用し、実態を把握して、追加の課題を与えたり、重点的に個別に指導したりすることができるようにする。【単元ごとに1回以上】
思考・判断・表現	B	日々の授業において、児童主体の授業となるよう多くの実践が見られた。学校課題研修において、目指す児童像の実現に向けてパートごとに研究を進め、2学期に2回、3学期に1回の提案授業を実施する計画となっている。情報共有をしながら、計画的に研修に取り組んでいる。	変更なし

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)